

「循環経済ビジョン研究会」運営計画案

1. 趣旨・目的

欧州循環経済パッケージ等の資源循環政策に係る国際動向、人口減少・高齢化等の社会構造の変化、モノからコトへといった消費・ビジネス構造の変化を受け、今後の資源循環政策のあり方について中長期的視野での議論が求められている。

これらの国際動向・社会動向を踏まえ、我が国「資源循環産業（仮称）¹」の現状と課題について所要の調査・分析を行い、今後の資源循環政策の方向性に係るビジョンを取りまとめるために「循環経済ビジョン研究会」を開催する。

想定される主な検討議題は、以下のとおりである。

【第1回研究会】

「循環経済ビジョン研究会」の背景

～循環経済を巡る国際動向と循環経済のあり方～

【第2回研究会】

循環経済を実現するために「資源循環産業（仮称）」が発揮すべき役割と共通課題①

～外部環境の変化と「資源循環産業（仮称）」のあり方～

【第3回研究会】

循環経済を実現するために「資源循環産業（仮称）」が発揮すべき役割と共通課題②

～「資源循環産業（仮称）」による垂直・水平連携～

【第4回研究会】

国際的な資源循環（「資源循環産業（仮称）」の国内外展開）に向けたあり方

～「資源循環産業（仮称）」の活動範囲の地理的拡大（経済圏の創出）～

【第5回研究会】

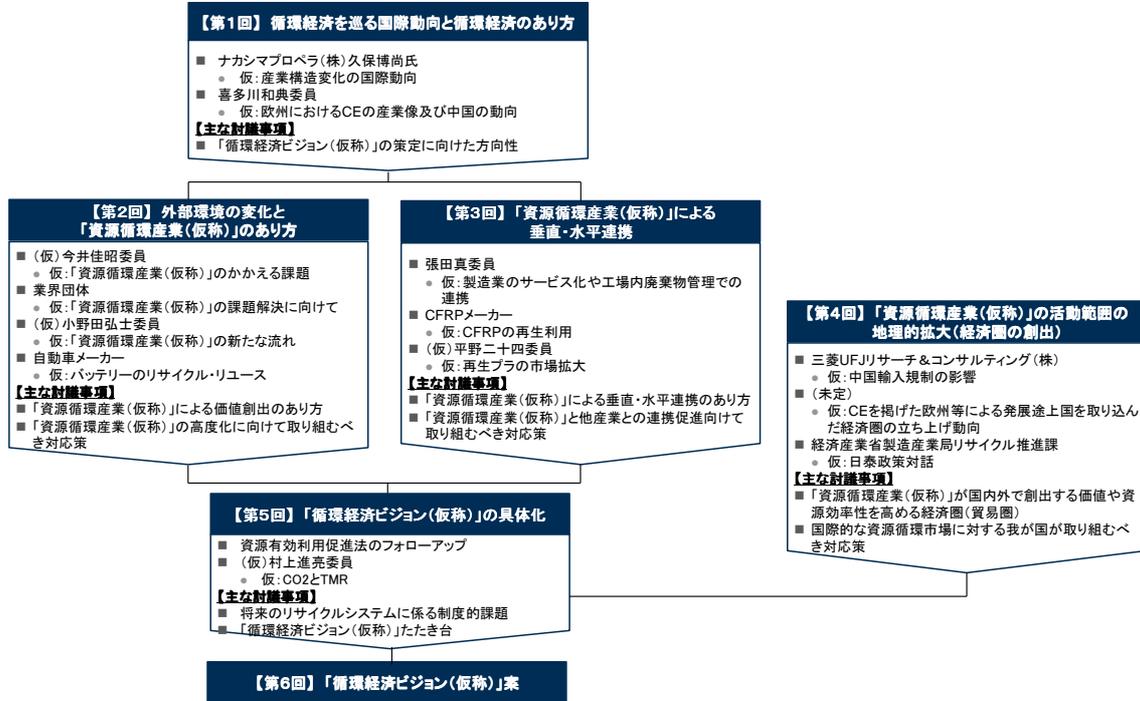
「循環経済ビジョン（仮称）」の具体化

【第6回研究会】

「循環経済ビジョン（仮称）」案

¹ ここでは、従来「リサイクル産業」や「静脈産業」などと称されてきた廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分、各種素材の生産（再資源化）等に係る産業にとどまらず、「モノからコトへ」といった資源効率性を向上させるサービス・財の提供を行う産業群の総称として用いている。

図表 1 資源循環経済政策の方向性に係る検討の流れ



2. 実施案

【第1回研究会】

日時	7月5日（木）14:00～17:00
場所	経済産業省別館 104 会議室
位置づけ	「循環経済ビジョン研究会」設立の背景 ～循環経済を巡る国際動向と循環経済のあり方～
議題	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究会運営計画について ● 資源循環政策の現状と課題について ● 「循環経済ビジョン（仮称）」の策定に向けた方向性について
予定 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ● ナカシマプロペラ（株）イノベーション室 久保博尚氏（仮：産業構造変化の国際動向） ● 喜多川和典委員（仮：欧州における CE の産業像及び中国の動向）

【第2回研究会】

日時	8月2日（木）9:00～12:00
場所	経済産業省別館 944 会議室
位置づけ	循環経済を実現するために「資源循環産業（仮称）」が発揮すべき役割と 共通課題① ～外部環境の変化と「資源循環産業（仮称）」のあり方～
議題	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル事業者へのヒアリング調査結果について ● 「資源循環産業（仮称）」の現状と共通課題について ● 「資源循環産業（仮称）」による価値創出のあり方（現状の課題解決や新たなビジネスモデル等）について ● 「資源循環産業（仮称）」の高度化に向けて取り組むべき対応策について ● <未定>プラスチックについて
予定 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ● （仮）今井佳昭委員（仮：「資源循環産業（仮称）」のかかえる課題、中国規制等市場環境変化に弱い静脈産業の姿） ● 業界団体（仮：「資源循環産業（仮称）」の課題解決に向けて） ● （仮）小野田弘士委員（仮：「資源循環産業（仮称）」の新たな流れ） ● 自動車メーカー（仮：バッテリーのリサイクル・リユース） ● <未定>（仮：プラスチックについて）

【第3回研究会】

日時	9月28日（金）9:00～12:00
場所	（未定）
位置づけ	循環経済を実現するために「資源循環産業（仮称）」が発揮すべき役割と共通課題② ～「資源循環産業（仮称）」による垂直・水平連携～
議題	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生材利用の促進や資源効率性の向上（エコデザイン導入）に向けた課題について ● 「資源循環産業（仮称）」による価値創出のあり方（再生材の市場創出に結び付く次世代のエコデザイン、またこれと結びついたビジネスモデルや制度等）について ● 「資源循環産業（仮称）」の高度化に向けて取り組むべき対応策について
予定 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 張田真委員（仮：製造業のサービス化や工場内廃棄物管理での連携（メーカーと連携した再生合金規格づくり）） ● CFRP メーカー（仮：CFRPの再生利用促進） ● （仮）平野二十四委員（仮：再生プラ市場の拡大）

【第4回研究会】

日時	10月29日（月）9:00～12:00
場所	（未定）
位置づけ	国際的な資源循環（「資源循環産業（仮称）」の国内外展開）に向けたあり方 ～「資源循環産業（仮称）」の活動範囲の地理的拡大（経済圏の創出）～
議題	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際資源循環の現状と課題について ● 中国の輸入規制による影響と今後の可能性について ● 「資源循環産業（仮称）」が国内外で創出する価値や資源循環を高める経済圏（貿易圏）について ● 国際的な資源循環市場に対する我が国が取り組むべき対応策について
予定 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（仮：中国輸入規制の影響（中国側）） ● <未定>（仮：CEを掲げた欧州等による発展途上国を取り込んだ経済圏の立ち上げ動向） ● <未定>経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課（仮：日タイ政策対話）

【第5回研究会】

日時	12月14日（金）15:00～18:00
場所	（未定）
位置づけ	「循環経済ビジョン（仮称）」の具体化
議題	<ul style="list-style-type: none"> ● 「資源循環産業（仮称）」の高度化のあり方について ● 将来のリサイクルシステムに係る制度的課題について ● 「循環経済ビジョン（仮称）」の方向性について
予定 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ● <未定>（仮：資源有効利用促進法のフォローアップ） ●（仮）村上進亮委員（仮：CO2とTMR） ● <未定>（仮：リサイクル率等マクロ指標の定義） ● <未定>（仮：太陽光発電パネルのリユース及びリサイクル）

【第6回研究会】

日時	仮案A 1月25日（金）13:30～16:30 仮案B 2月13日（水）13:30～16:30
場所	仮案A 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社社会議室 仮案B （未定）
位置づけ	「循環経済ビジョン（仮称）」の案
議題	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジョン（案）のとりまとめ

（以上）